



武神館で稽古している外国人の方たちが追い求める忍者像は、私たち日本人が思う以上に現実的で、実戦で生き残ることを主眼にしているものなのです。

生き抜く知恵を学んで

「ここで教えているのは、スポーツではなく、実戦。それも勝ち負けの次元の問題ではありません。いかに生き残るか。本質的なことを言うと皆さん、武道ではなく闘争でもなく、生き方を学んでいる」と初見さん。

最後に初見さんは稽古に励む若者を見ながら、「日本は平和ですが、世界各地にはまだ紛争地域があり、生き残るためには忍術が必要とされているのが現実です。だから、たくさんお見えになる外国人はみんな必死です。日本では、紛争はありませんが、厳しい社会になっています。力強く生きるための知恵が、忍術にはありますので、興味を持った方はぜひ学んでみてください」と笑顔で話してくれました。